

令和6年度 第14回 政策推進会議

日 時 1月7日 9時30分～10時20分

場 所 WEB 会議室

出席者 20人

1 年末年始の業務状況について

危機管理安全局長から報告。

- ・ 年末警戒パトロールを12月28日から31日まで、市内の主要駅を中心に実施し、特に異常はなかった。また、その他の災害含め事故事件等の報告も無く、その他の対応はなかった。

総合政策局長から報告。

- ・ 局内の所管施設である生涯学習プラザ、女性センタートレピエ、地域総合センターについては、年末年始は休館であった。また、今年も大きな火災等もなかったため、地域課職員の稼働が必要な対応もなかった。

資産統括局長から報告。

- ・ 年末年始、休日夜間の受け付けを警備室で行っており、今年度については、死亡婚姻出生などで合計206件受け付けがあった。
- ・ 現在行っている本庁の電気設備の工事などの関係上、停電の必要があったため、対応を行った。その他の工事も含めて延べ3名が、今回出勤している。

総務局長から報告。

- ・ コールセンターの受付業務について、12月28日から1月5日、朝9時から夕方5時まで受け付けをしており、昨年度が397件に対して今年度は419件問い合わせがあった。
- ・ 問い合わせは、年末年始のごみ収集や、各課の年末年始の業務状況、休日の診療についてなどが多かった。

福祉局長から報告。

- ・ 年末に4件ほど個別対応を行った。
- ・ まず、1件目は、高齢女性の方が警察に保護され、ご自宅に帰るのが困難であったため、無料低額宿泊所への一時入所の調整を行った。
- ・ 2件目は、ご自宅で亡くなられた高齢者の方の身元確認として、受給歴、病院歴、通院歴などについて警察から問い合わせがあったため、対応した。
- ・ 続いて、3件目は、2人世帯で高齢者を介護している方より連絡があり、ショートステイの入所調整を行ったが、空きがなく、最終的にレスパイト入院への対応を行った。
- ・ 最後に、高齢単身の生活保護受給者の方が年末に亡くなられ、今後の対応について相談対応を行った。

保健局長から報告。

- ・ 年末年始に職員の出勤は無かったが、所管してる施設として、弥生ヶ丘斎場、休日夜間急病診療

所、口腔衛生センターの急病歯科診療所の3つの施設が稼働していた。弥生ヶ丘斎場及び口腔衛生センターの方は特に問題はなかったが、休日夜間急病診療所は、インフルエンザの流行が相まって大変混雑した状況であった。

- ・ 受診者数は、12月29日から1月3日までで、3,934人の受診があり、昨年度の2,787人と比べると、1.4倍である。それに加え、コロナ前の特に多かった令和元年度の3769人と比較してみても、さらに多かったというのが実態である。

こども青少年局長から報告。

- ・ 所管施設について、保育所、児童ホーム、こどもクラブ、年末年始の土曜日等開所していたが、事故等はなかった。また、ユース交流センター等の施設についても、特に大きな問題はなかった。
- ・ 年末年始、土日も開所している子どものための権利擁護委員会の窓口でも特に大きな問題はなく、いくしあに関係する子供の児童虐待等で、急遽、職員が動くという相談等もなかった。

経済環境局長から報告。

- ・ まず、ごみ収集処理について31日まで対応を行い、また、クリーンセンターへのごみの持ち込みについても30日まで対応を行った。25日から通常の4割増しの件数を受け入れるなど、市民サービスの向上に努めている。また、まちづくり提案箱に来ていた、紙資源の日の回収漏れについて、事業者に事実確認を行った上で指導を行い、対応済みの状況である。
- ・ あと、焼却対象ごみ量の削減について、昨年度7年前倒しで目標を達成した上で、今年度についても、昨年度より3,000トンぐらい燃やすごみが減る見込みとなり、順調に減っている状態である。
- ・ 次に、地方卸売市場について、12月28日、29日に職員2人が出勤、止め市であった30日は職員2人に加え場長と課長が出勤した。また、1月5日の初市には、朝5時過ぎから市長と塚本副市長にも同席いただくなか、私以下職員6人が新年の挨拶回りをを行った。なお、年末年始の施設等のトラブルはなかった。
- ・ 次に、尼崎城については、30日から2日まで休城し、休城明けの3日から5日の入場者数について、昨年度の2倍の計1,320人であった。また、尼子騒兵衛漫画ギャラリーについても30日から3日まで休館したが、12月28日29日と4日5日の入場者数の計が475人であり、購買部を含む売り上げは60万円を超えた。
- ・ もう一点、あま咲きコインについて、キューズモールがこれまで独自の商品券を発行していたが、今年度からは、5,000円で6,000円分の買い物ができるあま咲きコインに変更していただき、一口5,000円で1,500口を年末に募集しところ、13分で完売した。このキューズモールの商品券があま咲きコインに変わったことにより、尼崎阪神またアルプラザでも幅広く使用できるようになった。

都市整備局長から報告。

- ・ 道路に関する軽微な要望が2件あり、道路巡回業者が対応した。

消防局長から報告。

- ・ 年末年始の9日間で職員延べ1,121人、1日平均125人が勤務し、災害対応等を行った。9日間の災害発生状況として、負傷者が1名発生した火災が2件であった。
- ・ 次に、救助件数については、22件で、21件が室内閉じ込め事案、うち6人が死亡状態であった。救急件数については、1,299件で、1日平均144.3件の出動であったが、お餅などの食べ物による、喉詰り事案はなかった。

- ・ また、令和 6 年中の総救急出動件数が 3 万 5,543 件となり、過去最多を更新したが、1 日平均当たり 97.1 件ということで、この年末年始の 9 日間の 1 日あたりが 144.3 件と比較すると、1 日あたり 47.2 件多く救急要請があったということになる。多かった要因として、おそらく、医療機関の休みが長期となったことで、病院に電話しても繋がらないため 119 番通報があったり、また、発熱等による救急要請が多かったものと考えている。

公営企業管理者職務代理者から報告。

- ・ 大きな災害、水道事業に影響を与えるような、氷点下 4 度以下となるような寒波も発生しなかったため、特段大きな勤務体制の変更は行っておらず、局全体としては、12 月の 25 日から 1 月 3 日までの間では延べ 67 人が出勤した。
- ・ 水道事業については、管路の緊急修繕体制のため、各日とも 2 人の出勤などで合計 13 人出勤、水質の定例検査で 12 月の 30 日に 1 人、1 月 2 日に 1 人が出勤している。
- ・ 下水道事業については、大雨等もなかったため、定例的な水質検査の実施のために、12 月 31 日に 2 人が出勤しており、水質について特に問題はなかった。
- ・ ボートレース事業について、レースが 12 月 24 日から 29 日までの 6 日間開催し、最終日の 29 日は 44 人の職員が出勤、翌日の 30 日に競技エリアの改修工事の工事立ち会いのために 2 人が出勤している。
- ・ 「年忘れ第 37 回今年もありがとう競走」を実施しており、売り上げについては約 26 億円、前年度比で 108.6%ということになり、引き続き好調な売り上げを維持できている。入場者数については、1 万 5,471 人ということで、入場者は前年度比で 94%となり、前年を 6%下回っている。
- ・ その他財務課が予算関係事務処理のために期間内に 4 人が出勤している。

議会事務局長から報告。

- ・ 年末年始における議員からの問い合わせもなく、職員の業務対応もなかった。

東教育次長から報告。

- ・ 小中高は、8日が始業式であり、幼稚園は 14 日が始業式となる。
- ・ 年末にインフルエンザ A 型がかなり流行し、12月 21 日以降の学級閉鎖が非常に多かった。数としては、小学校は 23 校の 45 学級、中学校が 2 校の 14 学級、高校が 1 校の 4 学級閉鎖をしており、中学校の 2 校のうち 1 校は学校閉鎖をした。このような状況であることから、明日の始業式、14 日の幼稚園の始業式等を注視する必要がある。

安田教育次長から報告。

- ・ 図書館と歴史博物館、あと地区体育館について、土日も開館し、年始は 4 日から開館をしている。特に年末年始のトラブルはなかった。

2 その他

○総合政策局長から、令和 7 年度（令和 8 年度実施向け）尼崎市市民提案制度における「市が提案を求めたいテーマ」の設定について説明。

○総務局長から、敷地内における喫煙所の廃止について説明。（以下、質疑等）

- ・ （市長）喫煙所は職員だけの場所ではないため、他都市の市役所における敷地内への喫煙所の設置状況も調べた上で、議会や来庁者の方にも納得いただけるよう、丁寧な手続きを経て、廃止に

向けて進めていただきたい。

- ・（総務局長）市議会については、昨年度中に正副議長と各幹事長、会派の幹事長には一旦ご説明をし、大きな反対はいただいていない状況である。市民の方についても、橘公園の喫煙所をご案内するなど対応したいと考えている。また、阪神間においてはおおむね4割が喫煙所設置していないような状況であり、他都市状況も調べながら説明は今後も尽くしていきたい。

○経済環境局長から、尼崎城成人の日特別企画「20 歳の方入城無料ご招待」について説明。

○教育次長から、歴史博物館第 13 回企画展「尼崎・災害の歴史－阪神・淡路大震災から 30 年を迎えて－」の開催について説明。

- ・（市長）この年末年始は急病診の混雑の問題や、救急救助が過去最高になったということで、やはり高齢化の問題と、インフルエンザの流行という課題に直面した年末年始だったと思う。

急病診について、11 月のリニューアルに向けて混雑が生じた際の事務処理の体制等々について早急に検討していきたいと考えている。

あとは、救急救助がやはり過去最高だということ、非常に件数が増えている状況の中で、来年度予算に向けて、政策項目にも挙がっているとおり救急体制の増強ということについてしっかりやっていきたい。一方で、救急車の適正な利用について、しっかりと市民の皆さんにもご理解をいただく必要がある。本当に救急で助けなければいけない方が利用できない状況になってしまうのはよくない状況であり、周知をしっかり行うことが大切であると改めて感じている。